

「政策の取組状況」一覧表

令和6年3月31日時点（速報値）

政策	主な個別事業	事業概要及び取組状況等
----	--------	-------------

1. ひとを守る -安全・安心な医療防災体制の構築へ-

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策事業	新型コロナウイルス感染症に係る入院治療費等の公費負担や陽性者への健康観察、電話相談窓口の設置、高齢者福祉施設等における感染対策の支援等を実施 令和5年5月8日の5類感染症移行後は、電話相談窓口の設置、高齢者福祉施設等における感染対策の支援等を継続実施 【延べ電話相談件数：4,505件（R5.4/1～R6.3/31）】 ※R5.5/8以降における入院治療費等の公費負担については県が実施
新型コロナウイルスワクチン接種事業	新型コロナウイルスワクチンの接種体制を整備 令和5年度は、初回接種に加えて、追加接種として令和5年5月8日から9月19日までは65歳以上の方や重症化リスクの高い方などを対象とした「令和5年春開始接種」、9月20日からは初回接種を完了した方を対象とした「令和5年秋開始接種」を実施 【延べ接種回数：173,391回（R5.4/1～R6.3/31）】
児童福祉施設等感染症対策事業	こどもルーム（11か所）や放課後児童クラブ（70か所）へ感染症対策に必要な保健衛生用品を配布するほか、私立認可保育所等が運営を継続するため、緊急時の対応に係る時間外手当等の人件費や施設の消毒清掃に係る費用を補助【利用件数：8件（R5.4/1～R6.3/31）】
私立認可保育所等感染症対策施設整備事業	私立認可保育所等に対して、感染症対策を目的とした施設整備（改修）に係る経費を補助【令和5年度実施施設：5施設】
障害福祉サービス継続支援事業	感染者等が発生した障害福祉サービス事業所に対し、サービスを継続して提供するための感染症対策に係る経費を補助 令和5年度は、国のスケジュールに合わせて10月以降に実施【申請件数：7件（R5.10/27～R6.3/31）】

(2) 安全・安心な医療

先進医療の導入や医療人材確保等に向けた取組	医療機関等におけるAI技術やロボットなどを用いた先進医療の推進を後押しするため、AI画像診断ソフトや手術支援ロボット等の導入や利用促進などに必要な取組について検討 令和6年度からのAI技術を使用した産官学による実証実験や手術支援ロボット等に関する人材育成への支援に向け、調整中
大分市地域医療情報ネットワーク整備事業	子どもから高齢者までの医療情報等を医療関係者が共有し、一人ひとりに合ったより質の高い医療の提供を行うため、地域医療情報ネットワークを構築する「おおいた医療ネットワーク運営協議会」に対して運営費等を補助 令和6年度に地域医療情報ネットワークを運用開始予定
大分市総合政策企画会議（医療と介護のネットワーク部会）	令和5年8月に設置した「大分市総合政策企画会議」における4つの部会（脱炭素社会部会・医療と介護のネットワーク部会・科学館部会・アーススポーツ部会）の1つとして、ICTの活用などによる医療と介護を結ぶネットワークの構築に向け、調査研究や情報収集等を実施 【部会開催回数：部会3回、作業部会2回（R5.8/1～R6.3/31）】
医療機関の連携強化等に向けた取組	新たな感染症や大規模災害などに備え、人員や予算などに関して機動的・効果的な対応ができるよう、公立医療機関の連携強化をはじめとした医療環境の整備について検討 令和5年度は、大分県と協議を実施
「東九州メディカルバレー構想推進会議」への参画	東九州メディカルバレー構想における県別構想推進会議の構成員として、会議やセミナー等に参加し、情報収集等を実施 【セミナー等参加数：7回（R5.4/1～R6.3/31）】
老・成人健康診査事業	各種がん検診、骨粗しょう症検診において集団検診（検診車が公民館等を巡回）、施設検診（各検診機関）、個別検診（指定医療機関での子宮頸がん検診）を実施【がん検診受診件数：76,509件、骨粗しょう症検診受診件数：1,754件（R5.4/1～R6.3/31）】
新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業	対象年齢の女性に子宮頸がん検診、乳がん検診の無料クーポン券を送付（対象年齢は、R5.4/1時点の年齢で子宮頸がん検診は20歳、乳がん検診は40歳）【クーポン利用件数：子宮頸がん154件、乳がん424件（R5.4/1～R6.3/31）】
救急医療対策事業	初期救急医療体制について、今後の方向性等を検討するため、「在宅当番医制及び初期救急医療体制あり方検討委員会」を開催 【委員会開催数：6回（R6.3/31時点）】 令和5年度は、10月に夜間救急医療体制に関する市民アンケートを実施

(3) 暮らしと命を守る防災・消防・救急

消防指令業務共同運用事業	消防指令業務のシステム整備に係る財政負担の軽減、情報の一元化による応援の迅速化等を図るため、県下14本部における消防指令業務の共同運用を令和6年10月に開始予定 令和5年度は、システムの整備を実施
水害時避難支援事業	台風等による被害の軽減を図るため、内水被害が発生するおそれのある地区や中小河川の氾濫危険箇所等において、水害監視カメラや水位標示板を設置するとともに、ライブ映像を配信し、市民への情報提供を実施 【設置数：水害監視カメラ32か所、水位標示板17か所（R6.3/31時点）】
大分市上下水道管路台帳総合システム	県内市町村が大分市上下水道管路台帳総合システムを共同で利用することにより、システムに係るコスト削減や災害時の応援と受援の円滑な実施を推進 令和6年1月から津久見市、令和6年3月から臼杵市が利用開始 令和6年度中に佐伯市が利用開始予定
災害時市民開放井戸の登録情報の提供	災害時に生活用水（雑用水）の不足が想定されることから、災害時に開放可能な井戸（飲用不可）としての登録を募集するとともに、登録状況を市HPで公開【登録数：299か所（R6.3/31時点）】

※【●●（R6.3/31時点）】の表記は、令和5年度以前も含めた取組状況等を表します

政策	主な個別事業	事業概要及び取組状況等
----	--------	-------------

2. ひとを育む -妊娠・出産から子育て、そして大学などの高等教育まで切れ目のない支援へ-

(1) 安全・安心でゆとりある保育環境

産後ケア事業	出産後の一定期間、医療機関及び助産所（32か所）において、母親の身体的、心理的ケア（産後の生活の助言等）や育児のサポート（沐浴や授乳の方法の助言等）を実施【延べ利用件数：471件（R5.4/1～R6.2/29）】
乳児家庭全戸訪問事業	保健師、助産師、看護師等が生後4か月までの乳児のいる家庭を全戸訪問し、居宅で様々な不安や悩みを聞き、子育て支援の情報提供を実施【延べ訪問件数：2,986件（R5.4/1～R6.2/29）】
養育支援訪問事業	乳児家庭全戸訪問事業等により養育に関して特に支援が必要と判断された家庭に対して、ヘルパーによる育児・家事の援助又は保健師等専門職員の訪問による指導・助言を実施【延べヘルパー派遣回数：165回（R5.4/1～R6.2/29）、延べ専門職員派遣回数：196回（R5.4/1～9/30）】
大分市にこここ保育支援事業	認可外保育施設を利用する保護者の経済的負担の軽減と子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備を目的に、令和6年度から保育を必要とする第2子以降の0、1、2歳児の保育料を無償化（上限3万5千円）令和5年度は、無償化に向けたシステムの開発等を実施
病児保育事業	入院などの必要がない病気の子ども（0歳～小6）について、保護者の仕事や疾病等の理由により家庭での育児が困難な場合に、病院・診療所に併設する施設（6か所）で一時的預かりを実施【延べ利用人数：7,716人（R5.4/1～R6.2/29）】
子育てファミリー・サポート・センター運営事業	子育て中の家庭を支援するために、育児や保育所等への送迎などの「援助を依頼する人」と「援助を提供する人」が会員登録し、子どもの世話を一時的に会員同士で援助し合う活動の調整を実施【延べ利用件数：1,411件（R5.4/1～R6.2/29）】
子育て世帯・ヤングケアラー等訪問支援事業	家事・育児に対して不安・負担を抱えている子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等に対して、家事・育児を支援するヘルパーを派遣し家庭における養育環境を整えることで、保護者の妊娠及び育児に対する負担や不安の軽減、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐとともに、日常生活を営むことに支障が生じている児童生徒への支援を実施【延べヘルパー派遣回数：580回（R5.4/1～R6.2/29）】
子育て短期支援事業	保護者が病気・事故・冠婚葬祭・出張などで、子どもを養育することが一時的に困難となった場合に、児童養護施設等で一時的預かりを実施【延べ利用人数：310人（R5.4/1～R6.3/31）】令和5年度は、利用施設における専用居室の整備と専従職員の配置への支援を新たに実施
「赤ちゃんの駅」の登録情報の提供	乳幼児を連れた保護者が外出時に気軽に立ち寄り、授乳やおむつ替えをする場所等を提供することができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録を募集するとともに、登録状況を市HPで公開【登録施設数：85か所（R6.3/31時点）】
市立保育所等おむつ処分事業	令和5年10月から市立保育所等（13か所）における保護者の負担軽減を図るため、使用済み紙おむつの自園処分を実施
私立保育所等おむつ処分事業	令和5年10月から私立認可保育所等における保護者の負担軽減を図るため、使用済み紙おむつを自園で処分する場合に補助金を交付【申請施設数：111施設（R5.10/1～R6.3/31）】
安全・安心な午睡見守りに向けた取組	保育施設等における午睡時の見守りを補完するため、ICT等を活用するなど、安全な午睡環境の担保と保育者の事務負担の軽減等に向けた取組を検討 令和5年度は、中核市への調査等を実施

(2) 多様性のある充実した学びの保障

中学生学校給食費無償化事業	食費や教育費等がかさむ中学生の子どもがいる子育て世帯の支援のため、市立中学校（碩田学園後期課程を含む）に在籍する生徒の学校給食費を令和5年度3学期の給食提供分から無償化を実施
子ども医療費助成事業	子どもの傷病の早期治療や健全な育成、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、医療費（保険診療分）の自己負担額を助成 令和6年4月診療分から助成の対象を高校生年代（18歳到達後最初の3月31日までの者）まで拡充するため、令和5年8月からシステム改修に着手
「いじめゼロ」「虐待ゼロ」に向けた取組	医師や臨床心理士等で構成する「いじめ・不登校等対策協議会」等による外部専門家の活用や子ども家庭支援センターの機能強化などを推進 令和5年度は、いじめや虐待の防止に対する意識の高揚と早期発見・早期解決に向けた更なる取組を検討
児童虐待防止対策強化事業	すべての子どもが心身ともに健やかに育つよう、子ども及び家庭等に対し、より適切な相談支援活動を行うため、子ども家庭支援センターと県中央児童相談所城崎分室との連携を強化 令和5年度は、県児童相談所への9名の職員の派遣研修を実施
ICT等を活用したインクルーシブ教育に向けた取組	共生社会の形成に向けて、インクルーシブ教育を推進するため、特別支援教育に係る研修の充実等を図り、教職員の資質向上を目指すとともに、教育上特別な支援を必要とする児童生徒への指導や支援の充実を促進 令和5年度は、ICT等の活用に関する教職員研修を実施したほか、自宅におけるICT等を活用した児童生徒への支援について検討
ヘアロスの児童生徒への支援に向けた取組	がんや他の疾患等の影響による脱毛症状を抱える児童生徒に対して、経済的・心理的負担を軽減するために必要な取組を検討 令和6年度からの経済的支援に向け、調整中
ヘアロスに関する講演会の開催	令和5年7月に市内小中学校及び高校の教職員を対象として、ヘアロスに関する講演会を開催したほか、ヘアロスへの理解を深めるハンドブックを小中学校（碩田学園を含む）、幼稚園、保育所等に配付
児童への見守り支援に向けた取組	登下校中の安全確保のため、児童への防犯グッズの配布や「こどもの安全見守りボランティア」による活動を実施 令和5年度は、ICT等の活用を含め犯罪の抑止力などにつながる取組を検討
HPVワクチン接種事業	令和5年度から「シルガード（9価）」が定期接種のワクチンに追加されたことに伴い、定期接種対象者（小学校6年生～高校1年生相当の女性）に勧奨通知を送付【令和5年度送付通数：10,341通】 国が接種機会を逃した方（積極的勧奨を差控えた期間の定期接種対象者等）を対象に、キャッチアップ接種を時限的に実施することを決定したため、当該対象者に勧奨通知を送付【令和5年度送付通数：18,621通】
市立小中学校における生理用品の無料配布	児童生徒が生理等について心配することなく、安心して学校生活を送れるよう、全ての市立小中学校（碩田学園を含む）のトイレや保健室等に無償提供の生理用品を設置【設置校数：83校（R6.3/31時点）】
市立以外の小中学校における生理用品の無料配布	児童生徒が生理等について心配することなく、安心して学校生活を送れるよう、市立以外の小中学校にも配布場所を拡大し、令和5年11月上旬以降、無償提供を開始
生理用品の無料配布	「大分市男女共同参画センター」（たびねす）で生理用品の無料配布を実施【延べ配布人数：157人（R6.3/31時点）】 令和5年度は、配布場所を拡大（本庁・保健所・城崎分館・コンパルホール・J.COM ホルトホール大分）し、10月下旬以降、無料配布を開始
大分市奨学資金拡充検討事業	進学を志す学生の経済的負担軽減と卒業後に大分で活躍する人材の育成・確保を目的として、新たな奨学資金制度の導入に向けた調査・検討を実施【外部検討委員会の開催回数：7回（R5.8/17～R6.2/1）】

※【●●（R6.3/31時点）】の表記は、令和5年度以前も含めた取組状況等を表します

政策	主な個別事業	事業概要及び取組状況等
----	--------	-------------

3. ひとを支える -誰もが役割を持ち、お互いに支え合い、自分らしく輝ける社会へ-

(1) あらゆる人が活躍できる社会の構築

若年者等就労応援事業	若年者・就職氷河期世代・女性・高齢者等に対し、就労応援セミナー等を実施【セミナー開催数：4回（R5.4/1～R6.3/31）】 働く若者の長期的キャリア形成と中学生の職業意識向上のため、働き始めた若者を講師として招き、仕事のやりがい等についての講演会を市立中学校で（碩田学園後期課程を含む）実施【講演会開催数：150回（R5.4/1～12/1）】
障がい者職場実習促進事業	障がい者の適性に合った就労を支援し、障がい者雇用を促進するため、一般就労を希望する障がい者と障がい者雇用に取り組もうとする企業をマッチングし、職場実習を実施した企業と障がい者の双方に奨励金を交付【職場実習件数：86件、就職予定者数：58人（R5.4/1～R6.3/31）】
介護予防と重度化防止の推進	生活機能の低下が認められた人を対象に、自立した生活を継続するための支援と介護予防・重度化防止の推進を実施【通所・訪問サービス延べ利用者数：38,276名（R5.4/1～R6.1/31）】 65歳以上の方を中心に、地域の身近な場所で介護予防の活動（健康づくり運動教室や地域ふれあいサロン等）が継続できる支援を実施【健康づくり運動教室開催数：6,432回（R5.4/1～R6.3/31）】
地域包括支援センターの運営と在宅医療・介護連携	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、高齢者の総合窓口である地域包括支援センター（23か所）を設置【相談件数：61,230件（R5.4/1～R6.2/29）】 医療と介護ニーズを併せ持つ在宅高齢者を支える在宅医療と介護の連携を推進【地域連携検討会開催数：10回（R5.4/1～R6.3/31）】
介護現場の革新に向けた取組	介護分野の従事者が長く働き続けられる環境づくりのため、介護ロボットの導入やICT等の活用など、業務の効率化等に向けた取組を検討 令和5年度は、県の関連事業の活用に向けた更なる取組を検討
「バリアフリーマスタープラン」及び「バリアフリー基本構想」改訂業務	現行の「バリアフリーマスタープラン」及び「バリアフリー基本構想」の計画期間が令和2～6年度の5か年であることから、改訂に向けて、令和5年6月から各種調査等を実施【大分市バリアフリーマスタープラン推進協議会開催数：2回（R5.8.1～R6.3/31）】
西大分駅周辺整備事業（バリアフリー化）	西大分駅前広場を再整備し、歩道等の段差解消などのバリアフリー化を実施 令和5年度は、8月から工事に着手し、令和6年3月に再整備が完了
移動支援事業	屋外での移動が困難な障がい者などが社会生活を送るうえで必要不可欠な官公庁や金融機関等への外出に対して支援【延べ利用者数：4,583人（R5.4/1～R6.1/31）】
長寿応援バス事業	高齢者が気軽に外出できる環境をつくるため、70歳以上及び運転免許を保有していない65～69歳の人に対し、定額料金で市内の路線バスに乗り降ることができるように支援【延べ利用回数：1,894,772回（R5.4/1～R6.3/31）】 ※ただし、現在経過措置により令和5年度の対象者は、69歳以上の人及び運転免許を保有していない65～68歳の人
車椅子で利用できる空間づくり	高齢者や障がい者（車椅子使用者等）などが不自由なく気軽に店舗等を利用できるよう、必要な取組について検討 令和5年度は、他都市の事例等について情報収集
パートナーシップ宣誓制度推進事業	性的マイノリティの人々の基本的人権を尊重し、多様性を認め合うことで誰もが暮らしやすい地域社会の実現に向け、令和5年9月1日から「おおいたパートナーシップ宣誓制度」の運用を開始【宣誓件数：6件（R5.9/1～R6.3/31）】

(2) 時代にあった行政運営

行政評価制度再構築事業	社会情勢の変化等により必要性が低下している事業、費用対効果が低い事業、事業の目的が重複している事業等を中心に見直しを行うとともに、現在実施している行政評価の手法の見直しについて検討を実施【令和5年度見直し事業数：32事業、見直しによる見込効果額：7億3,000万円】
政策調整を担う人員の配置	庁内の横断的な連携を強化し、各種施策をスピード感を持って実施するため、令和5年5月に企画部に政策調整を担当する審議監1名と、市長室にこれを補佐する参事補1名を配置
デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進事業	デジタル技術を活用して住民の利便性を向上させるとともに、業務効率化を図ることで行政サービスの更なる向上につなげるため、国の「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」に基づく各種取組を推進 令和5年度は、住民記録等の情報システム標準化に向けた対応を進めるとともに、行政手続のオンライン化を推進するほか、生成AIの検証及び活用の手引き作成等を実施
デジタル技術を活用した新たな広聴事業	さらなる市民サービスの向上を図るため、令和6年3月から、道路の損傷や河川の情報、公園遊具の破損などの状況について、市民が手軽に画像や位置情報を送信できる機能を大分市公式LINEに追加
要介護認定業務DX化事業	令和6年3月から、認定調査業務にタブレットと専用ソフトを導入し、市認定調査員の調査を電子化するとともに、認定審査会では、同時期に導入したペーパーレス会議システムにより、審査会委員にデータを共有できる環境を整備
大分都市広域圏推進事業	大分都市広域圏の組織として、幹事会と8つの専門部会（商工観光部会・農林水産部会・福祉保健部会・環境部会・都市基盤部会・防災部会・一般廃棄物処理施設整備部会・デジタル部会）を設置しており、必要に応じて部会等を開催し、広域連携を推進【令和5年度開催数：幹事会5回、専門部会13回】
「政策の取組状況」の公表	まちづくりの5つの柱（ひとを守る・ひとを育む・ひとを支える・ひとを豊かに・ひとを元気に）に沿った事業の取組状況等を公表 令和5年度は、12月に公表

※【●●（R6.3/31時点）】の表記は、令和5年度以前も含めた取組状況等を表します

政策	主な個別事業	事業概要及び取組状況等
----	--------	-------------

4. ひとを豊かに -市民生活の向上と心豊かな暮らしの実現へ-

(1) 地域経済の振興

地域産業等の育成につながる入札制度	地域の産業・事業者の育成や経営の安定化等につながる効果的、効率的な入札方法などについて検討
地域特性を生かした研究開発拠点づくり	地域経済の振興のため、産学官が連携した研究開発を推進し、地域特性を生かした研究開発拠点づくりについて検討 令和5年度は、大分県と連携して情報収集等を実施
大分市総合政策企画会議（科学館部会）	令和5年8月に設置した「大分市総合政策企画会議」における4つの部会（脱炭素社会部会・医療と介護のネットワーク部会・科学館部会・アーバンスポーツ部会）の1つとして、科学館の設置の可能性について調査研究や情報収集等を実施 【開催回数：部会2回、作業部会2回（R5.8/1～R6.3/31）】
「チャレンジ創業！」大分市創業者応援事業	若者（概ね29歳以下）を対象にした起業セミナーやビジネスプランコンテスト等を開催するほか、市内に新たな事業所を開設する創業者に対して、創業時に必要な初期費用を補助【起業セミナー開催数：3回（R5.4/1～R6.3/31）】 令和5年9月24日から令和6年3月20日の間、若者の創業マインド醸成やシーズの発掘・育成を図る施設「オオイタミライブース」をプレオープン【延べ利用者数：869人（R5.4/1～R6.3/31）】
大分県が設置する大分県医療ロボット・機器産業協議会等との連携	東九州メディカルハレー構想に基づき、企業による医療、介護・福祉機器分野への参入を促進するため、医療機器産業の拠点づくりを推進する「大分県医療ロボット・機器産業協議会」が開催する会議やセミナー等に参加し、情報収集等を実施 【セミナー等参加数：7回（R5.4/1～R6.3/31）】
スマート農業技術等活用支援事業	省力化、生産性の向上及び高品質な農産物生産を促進し、担い手の減少・高齢化に伴う人手不足が深刻化する本市農業の持続的な維持・発展につなげるため、ロボットやAI、IoTなどの先端技術を活用したスマート農業技術等の導入などに係る経費を補助 【補助金交付件数：12件（R5.4/1～R6.3/31）】
「おおいたの幸」ブランド化支援事業	本市における6次産業化や農工商連携等の促進を図るため、大分市産農林水産物等を活用した加工品の研究・開発・販路拡大を支援 【事業採択数：11件（R5.4/1～R6.3/31）】 令和5年度は、道の駅「たのうらら」（令和6年度運用開始予定）での販売を目指し、大分市西部地区産品目（びわ、すもも、柑橘など）を活用した商品開発を支援する「西部海岸施設枠」を新設

(2) いつまでも住み続けられるまちづくり

大分市総合計画「おおいた創造ビジョン2024」第2次基本計画とSDGsの関連表の推進	本市における最上位計画の「大分市総合計画」において、SDGsの17のゴールと関連する19の具体的な政策を整理しており、これに基づき各種施策を推進
「脱炭素先行地域」への提案応募	本市は「2050年ゼロカーボンシティ」を表明しており、市民・事業者と連携・協力しながら、持続可能な脱炭素社会の実現に向けた取組を推進するため、環境省が実施する「脱炭素先行地域」への応募を検討 令和5年度は、民間事業者との対話を通じ、「脱炭素先行地域」への申請に向けた地域課題の洗い出しと事業手法の検討のためのサウンディング型市場調査を実施【対話事業者数：11グループ（R5.7/18～7/21）】
大分市総合政策企画会議（脱炭素社会部会）	令和5年8月に設置した「大分市総合政策企画会議」における4つの部会（脱炭素社会部会・医療と介護のネットワーク部会・科学館部会・アーバンスポーツ部会）の1つとして、2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組について調査研究や情報収集等を実施 【開催回数：部会2回、作業部会4回（R5.8/1～R6.3/31）】
工場夜景クルーズ実証事業	製造品出荷額等が九州第1位となるなど、九州・日本の工業をけん引する本市の強みの一つである臨海部の工場群を活用し、産業観光の新たなコンテンツ造成等に向けた取組を推進 令和5年度は、グリーン・コンビナートへ変化していく工場群を海から眺める「工場夜景クルーズ」のモニターツアーを実施
水素エネルギー導入推進事業	水素を活用する家庭用燃料電池（エネファーム）や業務・産業用燃料電池の設置、燃料電池自動車の購入に対する経費を補助 令和5年度は、家庭用燃料電池（エネファーム）の設置に係る補助上限額を引き上げ 【交付実績：エネファーム13件、燃料電池自動車3件（R5.8/1～R6.3/31）】
省エネ家電購入促進事業	エネルギー価格高騰下における家計負担の軽減と家庭での温室効果ガスの排出削減を図るため、市内の店舗で購入した省エネ性能の高い家庭用のエアコンと冷蔵庫の購入費を補助【交付実績：2,785件（R5.8/25～11/20）】
宅配ボックス設置助成事業	物流における温室効果ガスの排出削減を図るため、既設の戸建住宅及び集合住宅に設置する宅配ボックスの購入費を補助 【交付実績：129件（R5.8/1～10/30）】
「大分市地球温暖化対策実行計画」の改定	改正された「地球温暖化対策の推進に関する法律」や、国の新たな「地球温暖化対策計画」との整合性を図るため、本市の地球温暖化対策実行計画の見直しを実施 令和5年度は、7月から市民・事業者に対する意識調査を実施
資源循環型農業推進事業	バイオマスの一つである家畜排せつ物の適切な堆肥化は臭気対策及び温室効果ガスの低減効果があるため、良質な堆肥生産に有効な発酵促進剤等の購入に係る経費を補助【補助金交付件数：6件（R5.4/1～R6.3/31）】 令和5年度は、若手起業家等の発想も取り入れながら新たな事業化に必要な取組を検討

(3) 都市機能の最適化・効率化

中九州横断道路の整備推進	国直轄事業である地域高規格道路「中九州横断道路」の全線開通・早期供用開始に向け、竹田市・豊後大野市とともに「豊肥・地域高規格道路建設促進期成会」を組織し、要望活動等を実施 令和5年度は、機運の醸成を図るため、市内で中九州横断道路リレーシンポジウムを11月に開催 国は、事業化に向け第3回計画段階評価を令和5年12月4日に実施し、令和6年3月31日現在、環境影響評価の手続き中
新たなモビリティサービス事業	地域住民の日常生活における移動や来訪者の観光地への移動など、既存公共交通を補完するモビリティとして、地域に応じたグリーンスローモビリティを運行 令和5年度は、野津原・佐賀関・大南地域で運行し、佐賀関地域では曜日を限定してルートを延伸するほか、自動運転の実装に向けた協議や新しい技術の実証等の情報収集を実施 多様な技術を活用した新たなモビリティの導入可能性に関して調査 令和5年度は、空飛ぶクルマなどの実用化に取り組む民間事業者等の試験飛行等の誘致を検討する中、現時点では、これまでに本市で行った2点間飛行や有人飛行以上のレベルでの実験は困難と判断し、実施を見送った 高齢化が進む住宅団地の移動支援サービスの実証実験を実施し、利用者のニーズや既存公共交通への影響等について調査することで、住宅団地における移動支援に関する今後のモデルケースを検討 令和5年度は、富士見が丘団地内で買い物や通院、路線バスへの乗り継ぎなど日常生活の移動を支援するサービスの実証実験を11月から約1ヶ月間実施【延べ利用者数：1,553人（R5.11/20～12/22）】
鉄道新駅周辺等調査事業	下郡地区における新駅設置に関する地元要望について、JR九州や地元と協議を実施
市営住宅共用階段照明LED化改修工事	エネルギー価格高騰下におけるコスト削減と脱炭素社会の実現に向け、市営住宅の省エネ化を図るため、共用部の照明をLED化 【実績：22棟345か所（R5.4/1～R6.3/31）】
デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の活用	国の「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用し、デジタルの力で地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図る「デジタル田園都市国家構想」の実現を推進 令和5年度は、全国初となる県内全自治体での物品の調達等に係る電子入札システムの導入等を実施 【デジタル実装タイプ交付決定：5事業（R6.3/31時点）】
道路などの修繕等	道路等の安全性と信頼性を確保するため、市道等の修繕及び草刈や街路樹剪定、側溝清掃など付帯施設を含めた維持管理等を実施 【市道等の修繕等実績：5,762件（R5.4/1～R6.3/31）】
公園の維持等	公園の安全性などを確保するため、本市が管理する公園（830か所）の計画的な維持管理、修繕等を実施 【延べ修繕箇所数：557か所（R5.4/1～R6.3/31）】
上水道の耐震化等	地震などの自然災害等へ備えるため、水道管路・施設の耐震化等を実施【基幹管路の耐震適合率：70.4%（R6.3/31時点）】
公共下水道の耐震化等	地震などの自然災害等へ備えるため、下水道管きょ・施設の耐震化等を実施【重要な既設管きょの耐震化率：42.6%（R6.3/31時点）】

※【●●（R6.3/31時点）】の表記は、令和5年度以前も含めた取組状況等を表します

政策	主な個別事業	事業概要及び取組状況等
----	--------	-------------

5. ひとを元気に -ひととまちが元気に輝き続け、新たな魅力が生まれるまちへ-

(1) 伝統と文化・芸術の継承と活用

食観光推進事業	「第2次大分市観光戦略プラン」のリーディングプロジェクトに基づき、「食」を活かした誘客を推進 令和5年度は、本市と市内事業者等が連携し、豊後水道で育った大分のふくをPRするイベントを令和6年1月27日から2月10日に実施
大分市「食」の魅力PR強化事業	本市の「食」の魅力を広く発信するため、令和5年度は、市内飲食店64店舗に対しSNS等の操作レクチャー会を行ったほか、リーフレットの制作や県外情報誌への特集記事掲載を実施
DXによる地域文化資源の継承及び活用推進事業	デジタル技術を導入することにより、市内の貴重な文化資源を次世代へ継承するとともに、観光・教育・産業など、様々な分野への活用を促進 令和5年度は、6月にウェブサイト「大分市デジタルアーカイブ」を開設【延べアクセス数：19,487回（R5.6/1～R6.3/31）】
おおいた地域伝統文化応援事業	地域の伝統文化の継承・再興・発展を通じ、世代間交流の増進・地域の活性化に資する事業に対して助成金を交付 【交付件数：8件（R5.4/1～R6.3/31）】
中心部活性化商店街等連携イルミネーション事業	中心市街地全体の賑わいと回遊性の向上を図るため、まちづくり団体が商店街やJR大分シティ等の行うクリスマス装飾等と連携し、実施するイベント「おおいた光のファンタジー」の開催に要する経費に対して補助
アートを活かしたまちづくり事業	アートのもつ創造性を活かして地域の活性化と観光振興を図るため、アートフェスティバルの開催やパブリックアートの制作などの取組を推進 令和5年度は、新たなパブリックアートの制作を12月に着手したほか、既存のパブリックアート作品を回遊できるPRパンフレットを1月に作成【令和5年度新規パブリックアート：2作品】
アーティストバンク推進事業	市民が多彩な文化・芸術に触れる環境づくりとまちなにぎわい創出などを図るため、文化・芸術団体や個人のアーティスト等の活動を支援 令和5年度は、文化・芸術活動を行う団体や個人（アーティスト）とその発表の場（スポット）を繋げるため、専用ウェブサイト「POART」を開設したほか、モデルイベント等を実施
文化推進事業	市民と行政が一体となって、本市の多彩で多様な文化・芸術の更なる振興を図るとともに、様々な生活シーンで、文化・芸術の有するパワーを最大限に生かすため、アートイベントや「別府アルゲリッチ音楽祭」などを開催 令和5年度は、7月に平和市民公園能楽堂で別府アルゲリッチ音楽祭の公演を開催したほか、アートイベントを8月に大南、11月に佐賀関、3月に野津原などの周辺地域で順次実施
おおいた夢色音楽プロジェクト	本市が日本における西洋音楽発祥の地といわれていることにちなみ、年間を通じて音楽があふれ、道行く人が心とむような「音楽のまち大分」の実現のため、「おおいた夢色音楽祭」などを実施 令和5年度は、9月に「のつはる音の森フェスティバル」、10月に「おおいた夢色音楽祭」、翌2月に「大分市ふるさとコンサート」を開催
大分市ブランド等加工品PR事業	大分市産農林水産物等の消費・販路拡大を図るため、これらを活用した魅力ある加工品を大分市ブランド「Oita Birth」として認証し、市内外でPRを実施【フェア等開催回数：13回（R5.4/1～R6.3/31）】
移住者就労促進事業	本市への移住希望者に対して雇用面を支援することにより、移住・定住を促進 大都市圏で開催される移住相談会への参加や移住雑誌を通じた情報発信等を実施 【移住相談会への参加回数：東京6回、大阪4回、福岡6回（R5.4/1～R6.3/31）】

(2) スポーツ資源の活用と環境の整備

スポーツコミッション推進事業	スポーツで地域の活性化を図るため、大分県スポーツ合宿誘致推進協議会に参画し、官民一体となって、日本代表級アスリートをはじめとしたスポーツ合宿等の誘致を実施【合宿誘致数：12件（R5.4/1～R6.3/31）】
市営陸上競技場改修事業	日本陸上競技連盟の「第2種公認陸上競技場」として、公認を継続するため、走路等のウレタン舗装や棒高跳び等の競技用施設の改修を実施 令和5年7月から工事に着手し、令和6年1月に完了
アーバンフェスタ開催事業	スポーツによる新たな魅力の創出に向け、東京2020オリンピックで若者を中心に盛り上がりを見せたスケートボードやBMX、ダンスなどのアーバンスポーツが体験できるイベントを実施 令和5年度は、10月に「お部屋ラポ 祝祭の広場」で「OITA URBAN SPORTS FES 2023」を開催
大分市総合政策企画会議（アーバンスポーツ部会）	令和5年8月に設置した「大分市総合政策企画会議」における4つの部会（脱炭素社会部会・医療と介護のネットワーク部会・科学館部会・アーバンスポーツ部会）の1つとして、アーバンスポーツやeスポーツに関する調査研究や情報収集等を実施 【部会開催回数：部会1回、作業部会1回（R5.8/1～R6.3/31）】
公園における芝生広場の整備	熱中症や転倒等の怪我のリスク軽減など、誰もがより安全に楽しみながら運動のできる環境を整備するとともに、ヒートアイランド現象の緩和等を図るため、公園に芝生広場を整備 令和5年度は、横尾1号近隣公園（横尾あおぞら公園）及び横尾3号街区公園（中筋ふれあい公園）を整備
校庭の芝生化への取組	児童生徒の身近な場所に新しい緑化空間を生み出し、より安全に楽しみながら運動のできる環境を整備するとともに、地球温暖化対策のための緑化意識高揚等を図るため、校庭の芝生化について検討 令和5年度は、他都市の動向等について調査

※【●●（R6.3/31時点）】の表記は、令和5年度以前も含めた取組状況等を示します